

角田支局記者 田村賢心の Let's KAKUDA!

「こんな人がいたんだ」

「こんな人がいたんだ、角田にも」と思っただけならば、こちらとしても手応えあります。

8月28日付朝刊の宮城県内版「先人の足跡」で、東根村坂津田（現角田市坂津田）出身の医師佐藤基氏（1894～1968年）を取り上げました。多くの糖尿病患者を救う治療薬となるインスリンを発見し、ノーベル医学生理学賞まであと一歩だったとされる方です。東北帝大（現東北大）医学部の助手として、後に総長となる熊谷岱蔵氏と研究に打ち込んでいたのですが、ノーベル賞は残念ながら、同時期にインスリンを発見したカナダの医師バンティングらに渡りました。熊谷、佐藤両氏の報告が、わずかに遅かったと伝えられています。佐藤氏は、その後、仙台赤十字病院の初代院長となり、戦後から高度経済成長期にかけて仙台の医療現場で活躍しました。

「先人の足跡」に角田出身者を登場させようと思い、インターネットなどで調べていたところ、佐藤氏の存在を知りました。何せノーベル賞クラスの研究者です。「こんな人がいたんだ、角田にも」と自分が興味を持ち、少しずつ取材を進めました。東根自治センターにある郷土史の冊子に経歴などが掲載されており、大変参考になりました。ところが、佐藤氏の医師としての活動の場が仙台で、亡くなられてから約50年が経過していることから、佐藤氏と実際に会ったことがある人が見つかりません。記事には佐藤氏の人柄なども盛り込む必要があります。詳しいとされる東根の方も、今年初旬にお亡くなりになっていました。それでも東根で聞き込みを続けたのですが、「亡くなった父親なら知っていたかもなあ。自分は分からない」との反応が続きました。

取材が壁に当たり「別の人を取り上げようか」と諦めかけました。しかし「ここで新聞に佐藤氏を載せなければ、この先、誰にも功績が伝わらなくなる。それはもったいない」と考え、もう少し東根で粘ることにしました。そうする中で、佐藤氏の長男が暮らす仙台の住所を知の方と会い、取材を一気に前へ進めることができました（その住所に行ってみると佐藤氏の親類方だったのですが、長男の自宅はすぐ近くでした）。長男も元医師。94歳で記憶ははっきりとしておられました。取材に応じていただき、

河北新報角田支局 田村賢心

kakuda@po.kahoku.co.jp

TEL 0224-62-1568/FAX 0224-62-0707

※連絡の行き違い防止のため、配達関連の連絡は販売所までお願いいたします。→

この場を借りて感謝を伝えたいと思います。東根の方々にも改めて御礼申し上げます。

記事は「佐藤は東根村にも病に苦しむ人があれば、仙台から診察に駆け付けた。故郷の風景を自身の原点として胸に刻んでいたに違いない」と締めくくりました。今後も角田から数々の人材が羽ばたいていくことと思います。故郷が出发点であることを忘れず、精進してほしいとの気持ちを込めました。佐藤氏の記事は、若い世代にもぜひ読んでもらいたい内容となりました。

またいずれ「先人の足跡」の当番が回ってきます。取材は大変ですが「角田にいた、こんな人」に出合えるのであれば楽しみです。



佐藤基氏について取材中の8月に撮影した東根地区



稲刈りを終えた田んぼが広がる10月の東根地区

編集後記

●寒い寒い。またまたコロナやインフルエンザが流行る季節の到来です。感染防止対策とともに地震や豪雨災害に対する備えも怠りなき様！しつこい様ですが、災害もコロナウイルスもそしてインフルエンザも「忘れた頃に」再び必ずやって来ます！！必ずです！！

次回「あんふいに」は11月29日(日)発行予定です。

☆皆様からのイベント情報等をお待ちしています。原稿は毎月二十日頃までに、当店へ直接お持ちいただくか、FAXまたはメールにてお送り下さい。

編集 河北新報目黒新聞店
発行 〒981-1505
角田市角田字泉町137-2
フリーダイヤル (読むニュース)
0120-46-2004

皆様の元気のお手伝いを

月刊 かんふいに

第387号

令和2年11月号

【毎月最終日曜日
発行予定】

第5回 ねぎまつり

このぼりが目印です

ねぎまつり

日時

11月14日(土) 15日(日)

7:30 ~ 11:30

新型コロナウイルス感染拡大防止のため今回のおもてなしの実施は中止とさせていただきます。

会場へはマスク着用でのご参加をお願い申し上げます（発熱のある方、体調の悪い方の参加はご遠慮下さい）。

受付はねぎ収穫体験会場にて行います。

今年もあります!!
ねぎ詰め放題

ねぎ収穫体験会場で収穫いただきます。
今年も美味しいねぎを袋いっぱいお詰めください。

袋いっぱい詰め放題
お一人様2袋まで
1袋 1,000円
(袋はこちらで準備しております)

袋がなくなり次第終了いたします

道の駅かくだとコラボ!!

当日は 阿武隈急行角田駅 から
ねぎまつり「ねぎ収穫体験会場」まで
無料のシャトルバスを運行予定です

阿武隈急行 角田駅 → 道の駅 かくだ → ねぎ収穫体験会場

会場までの地図

角田警察署方面から(県道44号)
→角田橋→角田市陸上競技場
→会場(館島田・ねぎ収穫体験会場)

右図

拡大図

受付場所
ねぎ収穫体験会場

臨時駐車場
約200台可

協力

道の駅かくだ (株式会社まちづくり角田)
TEL 0224-61-2850

Challenge Million 市民会議
観光専門部会 (角田市商工観光課)
TEL 0224-63-2120

主催

農事組合法人 館島田生産組合
代表理事 小野 良雄

角田市島田字瀬上12-1
TEL 0224-86-5033